

EasyAmp *Kudoa septempunctata* Detection Kit (Code No. 391-5210)

蛍光検出装置の詳細な設定方法

Genie[®] II の設定方法例

1. Genie[®] II の起動

- (1) 電源ケーブルをコンセントに接続する。
- (2) Genie[®] II 本体背面にある電源スイッチを入れる。
(LED ランプが橙色に点灯し、緑色になれば起動完了)

2. 装置の設定 (Genie[®] II : Firmware Version1.28)

- (1) タッチパネルに触れて「LAMP+Anneal」を選択し、「Edit」を押す。
- (2) 各ウェル (1~16) のサンプル名を記入する。
サンプル名を記入するためには、リスト部分を触れる。
9~16 のサンプル名を記入するためには右端の A⇔B アイコンを押す。
- (3) 記入が終わったら右端の☒アイコンを押す。
- (4) 次に反応条件の設定を行うため、タッチパネル下部に触れる。
Preheat にチェックが入っていないことを確認し、
Amplification のチェックが入っていることを確認した後、反応温度を 63°C に変更
する。また、反応時間が 30 分となっていることを確認する。
Anneal のチェックが入っていることを確認する。
- (5) 次回の反応のため、設定した条件を保存したい場合は、フロッピーアイコンを押す。
- (6) Save profile 名を記入し、☒アイコンを押す。
- (7) 反応を開始するために▶アイコンを押す。
A Block のみで検査する場合は、A
B Block のみで検査する場合は、B
A と B 両方の Block で検査する場合は、Both を押して反応を開始する。

次回以降同条件で検査を実施する場合は、Genie[®] II を起動後、タッチパネル下部のフォルダアイコンを押して、PROFILE を選択した後、☒アイコンを押す。次に前回保存したファイル名を選択し、☒アイコンを押すことで設定が完了する。

3. 判定の方法

反応後、そのまま判定を行う場合は、(1)～(4)の操作は不要です。(5)に従って結果の判定を行って下さい。

- (1) 検査データは本体の「LOG」に保存されているため、Genie[®] IIを起動後、タッチパネル下部のフォルダアイコンを押して、LOGを選択した後、アイコンを押す。
- (2) 検査データは、日付毎にフォルダへ保存されるため、検査を実施した「年」、「月」、「日」の順でファイルを開く。
- (3) ファイルを選択すると、検査時の「Profile」、「Temperature」、「Amplification」、「Anneal」、「Results」のタブが現れ、それぞれのデータを確認することが出来ます。
- (4) 検査結果を確認するため、「Results」のタブを選択する。
- (5) 検査サンプルのAmplificationとAnnealの欄を確認します。Amplificationの時間が5～30分[†]との記載があり、Annealの温度がKudoa陽性コントロールの温度±1°Cの範囲の場合、陽性判定とします。

[†]5分より短い時間が生じされている場合は、バックグラウンド（反応液の泡等が弾けることで生じる）を誤って増幅と判定している可能性があります。その場合は、Anneal欄の温度のみで判定して下さい。

4. Genie[®] IIのシャットダウン

- (1) タッチパネル下部の電源マークを押すと、「Shut down?」と表示されるので、「Yes」を選択し、Genie[®] IIをシャットダウンする。
- (2) Genie[®] II本体背面にある電源スイッチをオフにして、電源ケーブルをコンセントから外す。